

認知症を知る

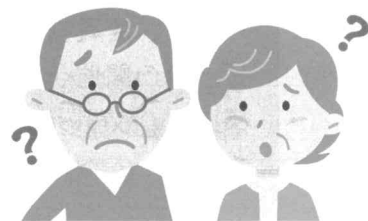
日本全国で高齢化がすすんでいるように透析患者も高齢化がすすんでいます。

「認知症になるのでは?」「認知症なのでは?」「認知症ってなに?」と“認知症”に対する不安はだれもが持っていると思います。恐れる前にまずは“認知症”について教えてもらいましょう。



医療法人社団裕和会
長尾クリニック 院長
長尾 和宏 先生

●職歴
1984年 東京医科大学卒業 大阪大学第二内科入局
1991年 医学博士(大阪大学) 授与 市立芦屋病院内科医長
1995年 兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業



第24回 18年ぶりの新薬に膨らむ期待

米国の製薬会社と日本企業のエーザイが共同開発したアルツハイマー型認知症の治療薬「アデユカヌマブ」が6月7日、米食品医薬品局(FDA)に承認されました。米国でアルツハイマー型認知症の薬が承認されるのは18年ぶり、とのこと。この薬は、認知症の人の脳に蓄積するアミロイドベータというゴミのような物質を取り除くことで認知症の発症予防を目指すものです。認知症予備軍ともいえる「軽度認知障害(MCI)」から認知症への進展を抑制するもので、すでに中等度～高度の認知症になった人の薬ではありません。治療薬というより予防薬というイメージです。

ただし追加を求められた臨床試験で効果を認められなければ承認が取り消されます。つまりまだ「仮承認」の段階です。また米国での年間薬価は約600万円と高価で、日本国内での保険適応などは未定です。さらに1カ月に1回の点滴が可能なのか、という指摘もあります。このように今後、越えなければならないハードルが沢山あり、現時点では過度な期待は早計だと思います。現段階では認知症の根治療法ではありません。

脳の神経細胞が死滅して脳が萎縮する原因として2つの物質が知られています。今回の「アミロイドベータ」ともう一つは「タウ」と呼ばれるたんぱくです。これまで「タウ」を標的とした創薬研究も沢山試みられてきましたが全て結果が出ていません。米国では2017年までの20年間で認知症の創薬開発の結果は、なんと4勝146敗でした。

そんな中、誰もが朗報を期待するのですが、正式な評価までに少し時間がかかりそうです。現時点では、同じく「MCI」から認知症への進展を防ぎ得る薬剤は、シロスタゾールという既存薬だけです。ちなみに筆者は「歩行習慣」を説いています。詳しく知りたい方は「認知症は歩くだけで良くなる」(山と溪谷社)を読んで下さい。早く長く歩く必要はありません。川柳をあれこれ考えながら朝夕の散歩を楽しむ程度、で充分です。

No.153
2021.7.30
Summer

NPO法人兵庫県腎友会会報誌

まほう



JR・山陽明石駅

明石市立天文科学館

©(一社)明石観光協会



大日本中央標準時
子午線通過地識標

明石市

特定非営利活動法人 兵庫県腎友会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (371) 4382 FAX.078 (371) 8840
ホームページ●<https://npohjk.or.jp/> E-mail●npohyojin@nifty.com

- 阪神ブロック事務局 〒663-8215 西宮市今津水波町1-7 ドミトリー高木1F TEL.0798 (36) 9731 FAX.0798 (36) 9732
- 神戸ブロック事務局 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (958) 7370 FAX.078 (371) 8840
- 東播ブロック事務局 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (958) 7323 FAX.078 (958) 7102
- 西播ブロック事務局 〒672-8048 姫路市飾磨区三宅1-192 田中興産ビル6F TEL.079 (285) 0577 FAX.079 (287) 6038